

JAC北海道 オホーツク分水嶺 踏査山行報告書

(1)～(8)は必ず記入してください。(9)～(11)は、気づいた事項があれば記入してください。

(1) 北海道支部	ブロック:B	(2) 記載者氏名:	今田美知子	会員番号: 申請中	事務局整理記入欄
分水嶺区分: B-7	津別峠～サマッカリヌブリ～美幌峠			(3) 山行日: H 23 年3月29日～31日	(4) 天候 晴れ: 積雪0m～1.8m

(5) 参加者氏名および会員番号

サポート要員氏名および会員番号

CL長谷川雄助(6103)	片岡 次雄(12093)	L増子 麗子(12987)	L助田梨枝子(12996)	成田 寛(会友)		
SL神埜和之(12997)	SL漆崎 裕子(13041)	中谷 秀子(13657)	L武田 一生(14271)			
SL一鐵 巖(14486)	錢亀三佐子(14728)	土屋 繁(14585)	常本 良一(14777)			
今田美知子()						
計			13 名	計		1 名

(6) 山行記録・位置確認(出発点・ピーク・峠・到達点など、主要ポイントに関して)・所要時間・道の状況

歩行開始点～分水嶺到達点迄のコース概略		道道588号線 冬季通行止めの津別峠入り口～津別峠							距離:	5.5 km			
分水嶺コース概略		津別峠～サマッカリヌブリ～美幌峠							距離:	11.0 km			
分水嶺離別点～歩行終了点迄のコース概略									距離:	0. km			
項目	主要地点名	2.5万分の1 地形図名	経度E			緯度N			高度 m	到着 時刻	出発 時刻	道の 状況	(8)～(11)の特記 事項等との関係
			度	分	秒	度	分	秒					
3/29歩行開始点	津別峠入り口(373m)	コトニヌブリ	144	10	58.17	43	33	54.50	376.0		14:00		
3/29歩行終了	C1テント場(・609E180m)		144	12	18.58	43	34	2.40	624.0	15:37		除雪済 A-1	
3/30歩行再開	テント場										7:31	〃	
分水嶺到達点	津別峠		144	13	35.22	43	33	58.35	753.0	8:10	8:30	積雪1.5 B-4	アカエゾマツ& ダケカンバ
	P942		144	13	45.24	43	34	23.48	957.0	9:44	9:47	〃	
	展望台(951m)		144	13	27.76	43	34	38.16	964.0	10:11	10:36	〃	(8)①〃
△974.4	サマッカリヌブリ	サマッカリヌブリ	144	13	6.14	43	35	17.23	982.0	11:20	12:06	〃	(7)①、(8)②〃
	三町界(931m)		144	13	3.31	43	35	55.99	934.0	12:47		〃	〃
	P886		144	13	23.29	43	36	16.52	891.0	13:13		〃	〃
3/30 歩行終了	C2テント場(・886N350m)		144	13	20.77	43	36	27.62	838.0	13:33		〃	〃
3/31歩行再開	テント場										7:33	〃	〃
	P693		144	13	28.95	43	37	5.67	692.0	8:15	8:22	〃	ハイマツ
	電波塔 反射板		144	13	43.81	43	37	52.62	612.0	9:26		積雪1m	(8)③〃
	△649.3三角点		144	13	48.32	43	37	57.82	649.0	9:35	9:40	積雪1.8	(7)②〃
	P595		144	14	20.83	43	38	12.47	596.0	10:20	10:31	積雪1m	ミヤコササ
	岩塔(526m)	屈斜路湖	144	14	47.46	43	38	41.47	510.0	11:15	11:39	積雪なし A-1	〃
	展望台(526m)		144	14	54.87	43	38	43.59	528.0	11:43	11:50	〃	〃
分水嶺離脱歩行終了	美幌峠(491m)		144	14	54.40	43	38	56.30	492.0	12:08		〃	(8)④
総歩行時間(休憩時間を除く):											9時間		

(7) 三角点の位置と保存状況

上記(6)の地点名を記入してください	点名	等級	方位	保存状況	特記事項
①サマッカリヌブリ	様狩山	2等		未確認	基準点コード6544-31-0701
②649.3ピーク	湖西山	3等		未確認	積雪1.8m 基準点コード6544-31-5301

(8) 人工施設の現況および地形図との相違点

①標津峠展望台(951m) : 相違点なし
②津別スキー場(954m) : 相違点 建物リフトなど撤去されており何もない
③電波塔・反射板(612m) : 相違点なし
④美幌峠道の駅(492m) : 相違点なし

(9) 水および植生に関連した特記事項

分水嶺上は、ほぼアカエゾマツとダケカンバのみの植生。一部ハイマツ地帯がある。
▲649.3から美幌峠にかけて概ね平坦な地形となり、洞爺丸台風(1954年)被害の枯れたアカエゾマツが点在し、ミヤコササに覆われた雪面に低灌木のダケカンバ、イタヤカエデ、ミヤマハンノキ、ナナカマド、ハナヒリノキが見られる。岩塔から美幌峠にかけてコケモモがある。

(10) その他の特記事項

①3月30日から31日にかけて暖気となり、美幌峠から500m屈斜路湖に下った国道243号の法面から雪崩が発生し、通行止めとなった。
②スノーシューでの踏査。 分水嶺距離1日目5.4km、2日目5.6km
③△649.3は電子国土基盤地図(カシミール山旅倶楽部25000全国では△649.5となっている)

(11) 写真の添付:(有りの場合には、写真説明を記入してください)

写真説明: ①1泊目テント場 ②分水嶺到着までの冬季閉鎖道道 ③分水嶺歩行開始地点津別峠 ④津別峠展望台 ⑤693ピーク 藻琴山を望む

⑥山行様子 ⑦電波塔近く 来た稜線を振り替える ⑧歩行終了 美幌峠道の駅